

第1回審議会における主な意見

区分	発言内容	対応案	第7期計画への反映状況	
			反映	今後の検討課題
防犯意識・防犯活動	地域の不安や不信感を示すような目安があれば、具体的な施策を立てやすい	- 定期的に防犯活動者の意識等を確認 - 体感治安の低下を踏まえ、安全安心を感じられるような取組を推進 ※客観的な指標に基づき成果を測定するため、体感治安は参考指標として設定	○	
	地域の治安に多少の不安がある方が危機意識や防犯意識が高まる			○
防犯活動	地域住民のいっそうの連携が必要	基本的方向や施策の行動方針に、担い手確保、活動支援、情報発信等を記載	○	
	SNS等を活用した防犯情報の共有ができないか		○	
	担い手を確保するため、活動に興味をもってもらうことから始めてもよいのではないか		○	
	自治会の高齢化が進んでおり、住民に自治会活動を推奨している		○	
	活動者の発信が重要		○	
犯罪傾向	コロナがR5.5から5類に移行したので、R5下期以降の認知件数の推移を注視する必要がある	- 認知件数が増加傾向にあり、これを抑えることを目標として設定 - 基本的方向や目標等に、変化する犯罪への対応を記載 - 年齢、性別、国籍等に関わらず、コミュニティの各主体が連携して防犯意識を高めることを行動方針に記載		○
	闇バイト、匿流、SNS型・投資ロマンス詐欺 などへの対策が必要		○	
	外国人も地域で安全安心に暮らせる対応が必要		○	
子どもの安全	子どもが自治会や防犯団体と交流することで声かけ等事案の減少につながるのではないか	子どもと地域との交流や、見守り活動を促進	○	
	声かけ等事案について、少子化を踏まえた数値を把握するべきではないか	声かけ等事案の参考として20歳未満人口の動向を記載	○	

第1回審議会における主な意見

区分	発言内容	対応案	第7期計画への反映状況	
			反映	今後の検討課題
性犯罪被害への対応	刑法が改正されたことや、性犯罪被害が顕在化してきた中での対応を考えるべき	- 性犯罪被害の発生件数を減少させることを新たな目標として設定 - 学校等と連携した子ども向けの啓発活動を推進	○	
	子ども頃からの意識づけが重要		○	
個々の取組	防犯カメラの設置を進めるべき	防犯に配慮した環境整備を行うことを基本的方向等に記載し、各取組を推進	○	
	外出時の居場所を特定するような取組は個人情報に配慮が必要		○	
	大学生を客引き側にさせないための対策ができないか		○	
	SNSの活用など相談しやすい窓口にするべき		○	
その他	地域安全まちづくり条例第15条の「犯罪被害者等に対する支援」について、見舞金の要素を盛り込むと分かりやすくなるのではないか	犯罪被害者等権利利益保護条例及び支援計画との整合性を踏まえて検討		○
	地域の中で再犯防止の取組の重要性を知ってもらうことが重要	再犯防止推進計画に基づき、県民への理解を促進		○